



わたしと憲法 第13話

“平和的生存権”



北医療生協監事
本田 直子

戦後のベビーブームに生まれた私たちは、家庭や学校で『戦争の話』を聞いて育った。死ぬかもしれないという恐怖の中での生活は恐ろしく「戦争が終わってから生まれてよかった」といつも思っていた。ある高校教師は「僕は、野戦で眠ったら殺されるという経験してから、1時間と続けて眠られなくなりました」と語った。20年もの眠られぬ長い夜を想像して、これが戦争なんだと知った。今も世界のあちこちで戦争がおこり、その後遺症は続く。一刻も早く「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」（憲法前文）を実現したい。

